



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 藤倉化成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 下田 善三

TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	28,096	0.6	1,108	30.8	1,260	26.9	852	21.9
2019年3月期第2四半期	28,259	2.3	1,601	29.4	1,724	26.3	1,091	6.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 548百万円 (6.1%) 2019年3月期第2四半期 584百万円 (45.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	26.78	
2019年3月期第2四半期	34.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	51,894	36,314	64.8
2019年3月期	51,940	36,158	64.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 33,639百万円 2019年3月期 33,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		8.00		8.00	16.00
2020年3月期		8.00			
2020年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	0.4	2,300	20.7	2,500	21.1	1,700	16.4	53.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	32,716,878 株	2019年3月期	32,716,878 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	887,714 株	2019年3月期	887,714 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	31,829,164 株	2019年3月期2Q	31,829,167 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしましたものの、海外における米中の通商摩擦や英国のEU離脱問題などがあり先行き不透明な情勢で推移いたしました。

当社グループの関連する業界におきましては、自動車産業につきましては、海外の自動車販売台数は低調に推移いたしました。国内における新車販売台数は前年を上回りました。また、住宅産業につきましては、新築住宅着工件数は前年同期を下回りました。エレクトロニクス産業はスマートフォン市場の成長鈍化などもあり厳しい市場環境となりました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は280億96百万円（前年同期比0.6%減）となり、営業利益は11億8百万円（同30.8%減）、経常利益は12億60百万円（同26.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億52百万円（同21.9%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車向け分野において、国内市場の販売は前年並みに推移いたしました。海外での販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は113億23百万円（同6.5%減）となり、営業利益は2億96百万円（同63.3%減）となりました。

② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、新製品の投入や消費増税前の駆け込み需要の影響もあり、新築住宅向け塗料、リフォーム用塗料ともに好調に推移いたしました。

この結果、売上高は74億32百万円（同15.2%増）となり、営業利益は6億14百万円（同40.1%増）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』）などを取扱う電子材料部門におきましては、国内市場、海外市場ともにほぼ前年並みの売上で推移いたしました。

この結果、売上高は14億35百万円（同0.5%減）となり、営業利益は70百万円（同41.2%増）となりました。

④ 化成品

トナー用レジン、樹脂ベース（『アクリベース』）やメディカル材料などを取扱う化成品部門におきましては、粘着剤などの機能材料分野の需要が減少いたしました。メディカル材料につきましては、原料用ラテックスの販売は堅調に推移いたしました。診断薬の販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は20億1百万円（同0.7%増）となり、営業利益は1億83百万円（同37.7%増）となりました。

⑤ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、液晶テレビ向け商品の需要は減少いたしました。また、カーエレクトロニクス分野向け商品の販売も伸び悩んだこともあり、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は59億56百万円（同6.0%減）となり、営業損失は55百万円（前年同四半期は営業利益1億75百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ46百万円（前連結会計年度末比0.1%）減少し、518億94百万円となりました。

① 流動資産

在庫の微増などの結果、前連結会計年度末と比べ14百万円（同0.0%）増加し、314億31百万円となりました。

② 固定資産

有形固定資産及び無形固定資産の減価償却の進行などの結果、前連結会計年度末と比べ60百万円（同0.3%）減少し、204億62百万円となりました。

③ 流動負債

仕入債務の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ2億94百万円（同2.3%）減少し、125億44百万円となりました。

④ 固定負債

リース債務の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ92百万円（同3.1%）増加し、30億36百万円となりました。

⑤ 純資産

利益剰余金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ1億56百万円（同0.4%）増加し、363億14百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.2%から64.8%へと0.6ポイント増加となり、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末より8円46銭増加し、1,056円85銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ14億53百万円減少し、113億17百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が12億60百万円であったものの、法人税等の支払が4億50百万円であったこと及び売上債権が増加したことなどにより、47百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は14億17百万円の収入）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出7億42百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円などにより、10億55百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は7億31百万円の支出）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加により1億25百万円の収入などがあったものの、配当金により2億55百万円の支出などがあったため、2億66百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は4億65百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しは、国内では回復基調の動きが続くと思われませんが、海外においては米中の通商摩擦、英国でのEU離脱問題、円高基調等、企業の経営環境は不安定な状況で推移していくものと思われれます。

このような環境の中、当社グループではマーケット戦略の見直しや経費削減等の諸策を実施し収益の確保に取り組んでまいります。当第2四半期連結累計期間実績や今後の動向の予測等を考慮し、2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期通期の連結業績予想の修正を行いました。

詳細は本日、2019年11月8日に別途開示いたしました「2020年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,098,715	12,830,047
受取手形及び売掛金	11,047,343	12,243,618
商品及び製品	3,560,597	3,548,829
仕掛品	81,990	95,372
原材料及び貯蔵品	2,042,549	2,051,127
その他	709,035	778,566
貸倒引当金	△123,097	△116,091
流動資産合計	31,417,132	31,431,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,650,978	11,651,079
減価償却累計額	△6,345,144	△6,509,572
建物及び構築物 (純額)	5,305,834	5,141,507
機械装置及び運搬具	13,627,760	13,734,691
減価償却累計額	△11,274,224	△11,425,205
機械装置及び運搬具 (純額)	2,353,536	2,309,486
工具、器具及び備品	4,795,511	4,849,195
減価償却累計額	△3,815,260	△3,946,757
工具、器具及び備品 (純額)	980,251	902,438
土地	4,532,259	4,520,739
リース資産	289,700	579,571
減価償却累計額	△191,154	△224,374
リース資産 (純額)	98,546	355,197
建設仮勘定	191,162	361,187
有形固定資産合計	13,461,588	13,590,554
無形固定資産		
ソフトウェア	273,752	246,399
その他	1,031,561	977,931
無形固定資産合計	1,305,313	1,224,330
投資その他の資産		
投資有価証券	2,418,283	2,441,747
長期貸付金	24,554	74,054
繰延税金資産	627,923	675,084
その他	3,123,643	2,895,445
貸倒引当金	△438,421	△438,771
投資その他の資産合計	5,755,982	5,647,559
固定資産合計	20,522,883	20,462,443
資産合計	51,940,015	51,893,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,022,381	6,859,509
短期借入金	2,623,230	2,697,330
未払法人税等	402,400	356,957
未払費用	1,084,538	891,555
賞与引当金	576,871	589,666
リース債務	45,246	84,877
その他	1,083,179	1,063,733
流動負債合計	12,837,845	12,543,627
固定負債		
繰延税金負債	105,643	102,472
退職給付に係る負債	2,383,537	2,381,965
長期未払金	125,998	120,771
リース債務	54,499	150,866
その他	274,017	279,732
固定負債合計	2,943,694	3,035,806
負債合計	15,781,539	15,579,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	22,590,889	23,188,716
自己株式	△524,976	△524,976
株主資本合計	32,458,233	33,056,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	372,825	361,120
為替換算調整勘定	843,794	543,536
退職給付に係る調整累計額	△305,370	△322,056
その他の包括利益累計額合計	911,249	582,600
非支配株主持分	2,788,994	2,675,818
純資産合計	36,158,476	36,314,478
負債純資産合計	51,940,015	51,893,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	28,258,942	28,095,858
売上原価	19,869,224	20,126,039
売上総利益	8,389,718	7,969,819
販売費及び一般管理費	6,788,512	6,862,146
営業利益	1,601,206	1,107,673
営業外収益		
受取利息	25,245	35,990
受取配当金	27,321	97,876
固定資産賃貸料	34,505	36,461
持分法による投資利益	52,772	30,572
その他	50,431	49,360
営業外収益合計	190,274	250,259
営業外費用		
支払利息	18,391	27,555
為替差損	23,132	53,743
その他	26,030	16,965
営業外費用合計	67,553	98,263
経常利益	1,723,927	1,259,669
税金等調整前四半期純利益	1,723,927	1,259,669
法人税、住民税及び事業税	472,317	403,381
法人税等調整額	19,340	△38,976
法人税等合計	491,657	364,405
四半期純利益	1,232,270	895,264
非支配株主に帰属する四半期純利益	141,367	42,804
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,090,903	852,460

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,232,270	895,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,007	△11,712
為替換算調整勘定	△524,529	△297,523
退職給付に係る調整額	24,869	△16,686
持分法適用会社に対する持分相当額	△54,064	△21,445
その他の包括利益合計	△648,731	△347,366
四半期包括利益	583,539	547,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	509,678	523,811
非支配株主に係る四半期包括利益	73,861	24,087

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,723,927	1,259,669
減価償却費	781,543	743,113
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△39,869	△17,123
賞与引当金の増減額 (△は減少)	69,310	13,927
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△94,757	△3,940
受取利息及び受取配当金	△52,566	△133,866
支払利息	18,391	27,555
売上債権の増減額 (△は増加)	△387,734	△1,286,705
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△125,478	△91,069
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△20,356	△12,591
仕入債務の増減額 (△は減少)	164,742	△111,772
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△55,506	2,974
その他	△175,121	△101,124
小計	1,806,526	289,048
利息及び配当金の受取額	73,048	152,729
利息の支払額	△19,462	△39,445
法人税等の支払額	△463,998	△449,946
法人税等の還付額	21,169	722
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,417,283	△46,892
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,094,395	△1,473,650
定期預金の払戻による収入	923,745	1,209,698
有形固定資産の取得による支出	△524,361	△741,521
無形固定資産の取得による支出	△55,016	△19,742
投資有価証券の取得による支出	△2,879	△3,059
その他	22,282	△26,865
投資活動によるキャッシュ・フロー	△730,624	△1,055,139
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	126,506	124,574
社債の償還による支出	△250,000	-
リース債務の返済による支出	△25,342	△44,078
自己株式の取得による支出	△2	-
配当金の支払額	△254,633	△254,633
非支配株主への配当金の支払額	△61,827	△92,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465,298	△266,482
現金及び現金同等物に係る換算差額	△91,694	△84,018
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	129,667	△1,452,531
現金及び現金同等物の期首残高	11,790,825	12,769,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,920,492	11,316,532

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従って、リース債務は、適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割引いた現在価値で測定しており、使用権資産はリース債務と同額を計上する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が当第2四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	12,110,174	6,450,963	1,421,693	1,986,197	6,289,915	28,258,942
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	20,832	170	45,714	66,716
計	12,110,174	6,450,963	1,442,525	1,986,367	6,335,629	28,325,658
セグメント利益	806,234	438,202	49,270	132,684	174,941	1,601,331

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,601,331
セグメント間取引消去	△125
四半期連結損益計算書の営業利益	1,601,206

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	11,322,696	7,431,655	1,435,244	2,000,812	5,905,451	28,095,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	107	50,145	50,252
計	11,322,696	7,431,655	1,435,244	2,000,919	5,955,596	28,146,110
セグメント利益又は損失(△)	295,961	613,851	69,592	182,704	△54,710	1,107,398

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,107,398
セグメント間取引消去	275
四半期連結損益計算書の営業利益	1,107,673

(重要な後発事象)

該当事項はありません。